

おんきょうひさし
音響庇

ピポット シェル
Pivoting Shell



1. なぜピポット・シェルを必要とするのか？

- ピポット・シェルを使うと、指揮者(または舞台技術者や演奏家)が舞台上の演奏音を調整することができます。彼らが望むようにピポット・シェルをあげたり角度付けをすることにより、ある範囲において演奏音を集めたり集中を解消したりできます。各演奏者が発するタワー音響反射板の反射音を調整して指揮者が望む音場を創りあげます。
- ウエンガーはタワー音響反射板にピポット・シェルを取り付けることができる製造会社の一つです。私どもはただ取り付けることができるだけでなく、ピポット・シェルを必要とする使用者(劇場/最終ユーザー)に納得いただける製品を作り上げています。ピポット・シェルは演奏音を増幅できますのでそれをお勧めしないわけはありません。業務に携わっている演奏家がピポット・シェルを取り付けることを望むのか望まないかにかかっています。

2. ピポット・シェルのメカニズム

- ウエンガーでは普通床面から 4.5 ｍの位置にピポット・シェルを取り付けています。1 台のタワーに 3 枚ずつのピポット・シェルを取り付けます。四隅(左右前面、左右後面)のタワー音響反射板を除いて全てのタワー音響反射板にピポット・シェルを取り付けます。四隅に取り付けない理由は、隣り合ったタワー音響反射板に当たってしまうからです。従って、四隅のタワーには 2 枚ずつのピポット・シェルを取り付けることとなります。
- ピポット・シェルは、タワー音響反射板の後方にある滑車を使ったケーブル機構で調節をします。(観客からは見えません)
- ピポット・シェルは、タワー音響反射板後方にあるハンドルのレバーで上下をしたり、角度調節をしたりします。角度調節はどのような角度でも可能です。

